

洗濯物選びモザイク処理

住宅画像からAIが識別

アリスマー 不動産業者と開発

鳴門市出身の大田佳宏氏が社長を務める人工知能（AI）関連ベンチャーArismer（アリスマー、東京）は、住宅の画像から洗濯物を検知し、自動でモザイク処理するAIを不動産情報サービスのアットホーム（東京）と共同開発した。

撮影した画像を専用サイトに取り込み、加工したい画像を選択。AIが学習データを基に洗濯物を識別し、数秒でモザイ

ク加工が行われ、手作業で最終調整する。画像の9割弱が正しく加工され、画像編集の初心者でも簡単に処理できる。

全国のアットホーム加盟の不動産会社などで運用を始めている。アットホームが新規で扱う物件の画像は月1200万枚。これまでは担当者が1枚ずつ目視で確認して画像を処理し、負担が大きかった。

（重田菜摘）



一部の洗濯物にモザイクがかけられた架空のアパートの画像（アリスマー提供）